

平成22年度第4回 産業応用部門論文委員会主査会議 議事録（案）

1. 日時：10月5日 火曜日 12:00-14:00
2. 場所：電気学会事務局内会議室
3. 出席者(敬称略)：D1:3名、D2:2名、D3:1名、
大石（編修長,長岡技術科学大学）、村上（編修長補佐,慶応大学）、藤崎（D1主査、豊田工業大学）、木村（D1副主査、大阪工業大学）、野口（D1次年度副主査、静岡大学）、寺田（D2主査、徳島大学）、森本（D2副主査、東海大学）、高瀬（D3主査、摂南大学）
欠席：亀井（D2次年度副主査）、米谷（D3副主査、）、村井（D3次年度副主査、）

4. 提出資料

- 22-4-0 議事次第（木村）
- 22-4-1 前回議事録（案）（木村）
- 22-4-2 電子査読システムの運用状況（村上）
- 22-4-3-1 「モーションコントロール」特集号について（村上）
- 22-4-3-2 「多次元センシング」特集号について（村上）
- 22-4-4 産業応用部門の取扱う分野（大石）
- 22-4-5-1 D1論文委員会名簿（大石）
- 22-4-5-2 D2論文委員会名簿（大石）
- 22-4-5-3 D3論文委員会名簿（大石）

5. 議事

5.1 前回議事録の確認（資料22-4-1）

- ・特に異議無く、承認された。

5.2 電子査読システム運用状況（資料22-4-2）

- ・全体的に投稿数が多くなっている。
- ・D2が多くて97件、D1が79件、D3が32件、となっている。
- ・英文誌ではD2が少ない状況である。D1では、IPEC特集号で20件程度プラスになる。

5.3.1 特集号状況確認（資料22-4-3-1）

「モーションコントロール」特集の現状について村上編修長補佐から代理で説明があった。

- ・4件、採録になっており、特集号としては成立するであろう。

5.3.2 特集号状況確認（資料 2 2 - 4 - 3 - 2）

「多次元センシング」特集（4月号）の現状について寺田主査から説明があった。

- ・ 30件、投稿有り。
- ・ 現状で5件採録になっている。但し、3件は解説論文。○印5件が査読中。
- ・ 解説論文の順番を決めて事務局に連絡して欲しい、と村上編修長補佐から要望があった。寺田主査から、28, 27, 30の順番にしたい、との要望。主査もしくはゲストエディタから、事務局に連絡してもらおう。投稿番号で知らせる。巻頭言も必要。
- ・ 5月号からは電子媒体に移行する。投稿料が変わる。

5.3.3 特集号に関連して

「J-RAIL 2010」特集について、次の事項を確認した。

- ・ 平成23年2月24日(木)締め切り、で広報されている。
- ・ 「SPC 特集」担当を決めてもらうよう、D1 論文委員会から技術委員会の幹事に問い合わせることとなった。

5.4 著者からの問い合わせについて

村上編修長補佐より、前回審議した著者からの問い合わせへの返送文を作成して、返送した旨の報告があった。

5.5 論文査読システムのフローについて（確認）

村上編修長補佐から、以下の点について説明が行われた。

- ・ [B],[C]判定の後、再査読結果が[D]で追加査読する場合は、「追加査読します」という文面だけを著者に知らせる。査読結果をアップロードしないようにしてほしい。
 - ・ [D,D]がそろった時点で前回の[D]も含めてアップロードする。
- すなわち、追加査読が必要になった場合、[R]判定を主査に返すとき、査読結果を消して、「追加査読しています」とテキスト欄に記入して返すことになる。
- ・ [R]に対して主査が処理すると著者に査読結果が見える。それは、まだ[A],[B]判定が出る可能性があるため、まずい。
 - ・ しかし、追加査読者が再査読者の判定理由を見るためには[R]判定して、ステージが一つ進まないといけない。
 - ・ 主査が著者へのアップロードをコントロールする方が良い。村上編修長補佐が検討してみるようになった。

5.6 D 部門の技術委員会の再編（資料 2 2 - 4 - 4）

大石編修長より、D 部門の技術委員会の再編が行われたので、それに合わせて論文委員会を追加する。ついては、論文委員会も再編案を作ることになった、との説明があった。

次のような案を提出することとした。（）内は、幹事団の選定数

D1:(MZK,) SPC(主査 1, 副主査 1, 幹事 3) [注:(MZK,)は現委員の継続のため]

D2:(VT,) IIC(主査 1, 副主査 1, 幹事 3) [注:(VT,)は現委員の継続のため]

D3:RM,LD,MD(主査 1, 副主査 1, 幹事 3)

D2&D4:VT,HCA,ITS((主査 1,) 副主査 1, 幹事 2:VT 含む)

D1&D5:TER,MZK,IIS,PFC,PFE((主査 1,) 副主査 1, 幹事 3:MZK 含む)

来年度、1 年間は D4 と D5 には主査を置かず、それぞれ D2, D1 と合同で論文委員会を開催するものとする。合同の論文委員会には主査を 1 名とし、副主査はそれぞれの論文委員会から 1 名ずつ、計 2 名を出すこととする。また、次年度副主査候補もそれぞれの論文委員会から出す。次年度には、D4 と D5 はそれぞれ主査を置き、独立した論文委員会として活動することとする。

5.7 次回開催日

1 2 月 7 日(火) 14:00~15:30、 場所：電気学会事務局内会議室

以上